

学 年	2年	教科・領域	学級活動	副読本P	P22・23
第3章2			つなみについて知ろう		

仙台市立東四郎丸小学校 2 学年

「避難する時に大切なことは」

○ ねらい

大きな地震が発生し、指定避難所へ避難する必要がある際に、自分の命を守るためには具体的にどんなことに気を付けて避難しなければいけないかを理解する。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 避難訓練を振り返る。</p> <p>今日の訓練では、みなさんはどんなことに気を付けて避難しましたか？何のための訓練でしたか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「お・は・し・も」に気を付けました。 ・ 先生の話をよく聞いて逃げました。 ・ あ、分かった！津波だ！ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 避難訓練の様子を振り返り、本時の課題に対してより具体的に考えることができるようにする。 ◇ 「わたしたちの安全」を活用して、「お・は・し・も」など、避難の基本となることも確認させる。 ◇ 今日の避難訓練の一番の目的は「津波からの避難」だったことに気付かせるようにする。
<p>2 津波について知る。</p> <p>「つなみ」がどんなものなのか、みんなで学んでいきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つなみ」か……。怖いよね。 ・ でも、どうして海が見えないのに「つなみ」の訓練したのかなあ。 ・ どうして屋上に逃げたのかなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 副読本P 22～23を見ながら、津波について説明する。 ◇ 「つなみ」は、川を逆流してくることもしっかりとおさえさせる。その上で、大きな地震が起きたときには川（特に名取川）や海の近くから離れ、高台に逃げることをおさえさせる。
<p>3 避難する時に大切なことを考える。</p> <p>【学習課題】地震で避難する時に大切なことは、どんなことか考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の命を守ること。 ・ そのために、「つなみ」とかに注意する。名取川や海から逃げる。 ・ 放送や大人の人の話をよく聞いて避難することです。 ・ 揺れがとまったら、小学校などの高い建物に避難する。 ・ ワークシートなどに、今日の授業の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「つなみ」が起きるかどうかは、防災無線や警報で知ることができることを児童に伝え、情報を正確に聞き取ることの大切さも教える。 ◇ 「子ども防災マニュアル」を参考に、大津波警報発令時、どのように避難したらいいかを説明し、「自分の命は自分で守る」という意識を身に付けさせるようにする。
<p>4 本時の学習感想を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本時で分かったことや気付いたことを書かせる。